

声楽アンサンブルコンテスト全国大会

一昨年はコロナ禍で、今年は地震で**中止**に！

第15回声楽アンサンブルコンテスト全国大会は、3月16日の福島県沖を震源としたマグニチュード7.4の地震の影響により、今後1週間は最大震度6強程度の余震の可能性があることから、開催直前になって中止されました。

去年2月福島県沖で地震が起きた際は数か月後にも規模の大きな地震が起きていることから、しばらくは揺れや津波に備える必要があります。

この大会は、一昨年はコロナ禍で中止されましたが、今年は直前に大きな地震に見舞われやむなく中止判断となりました。大会関係者の方々のご苦労が偲ばれます。

第15回声楽アンサンブルコンテスト全国大会【予定】

- ・2022年3月18日(金)～21日(月・祝)
- ・ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂) 大ホール
- ・主催：福島県、福島県教育委員会、大会実行委員会
- ・共催：全日本合唱連盟、全日本合唱連盟東北支部、福島県合唱連盟他
- ・審査員：浅井敬壹、上西一郎、岸信介、佐藤正浩
鈴木輝昭、辻 裕久、藤井宏樹の7氏
- ・日程：3月18日(金) 中学校部門
3月19日(土) 高等学校部門
3月20日(日) 小学校・ジュニア部門/一般部門
3月21日(月・祝) 各部門金賞団体による本選

この大会は、アンサンブルに焦点を絞り、2～16名編成のグループによる合唱コンテストです。福島県から全国に発信することを目的として、平成20年(2008)にスタートしました。

楽器も含めて伴奏形態が自由で、ア・カペラに限定しない多様な合唱音楽づくりを目指しています。今年は規模を縮小し、感染拡大防止策を講じての開催を予定していました。外国人審査員の招聘、海外団体の募集、その他交流会等もやりません。

出演団体は、中学校部門34団体、高等学校部門40団体、小学校・ジュニア部門7団体、一般部門31団体の合計112団体が予定されていました。

第67回埼玉県合唱祭

ホールごとに異なる参加可能人数



第67回埼玉県合唱祭は、6月4日(土)～19日(日)までの5日間にわたって開催を予定しています。

感染防止対策は、全日本合唱連盟ガイドラインに則りながら、さらにホールごとに要請されたオンステ人数の制限を行います。定員は、埼玉会館66名、さいたま芸術劇場39名、さいたま市文化センター89名、熊谷文化創造館さくらめいと45名です。ホール上限より人数の多い合唱団は、複数のチームに分けて参加が可能です。

演奏時は、不織布マスク着用、フェイスシールド等のみの使用は不可です。出演者、指揮者・伴奏者ともに更衣室を用意し、リハーサルも行う方向です。舞台の立ち位置は指定されたナンバープレート上で歌います。県連ホームページのコミュニティサイトTuttiに第4希望まで記入して申し込みますが、ネット環境が使えない場合は郵送でも受け付けています。このネット受付は事務局の作業量軽減に一役買っています。

出演日や時間帯については、予め受け付けた希望に沿って事務局でとりまとめ、4月29日の総会終了後に各団代表が集まって微調整し確定します。

豪華メンバーが歌うHappy Birthday!!

3月群馬県藤岡市で行われた関東ヴォーカルアンサンブルコンサートの審査員室での出来事でした。全日本合唱連盟関東支部事務局長の新祖章さん(『おんがく広場』発行元・クッキー会メンバー)が、部屋に入った途端、中で待ち構えていた審査員5人の先生が一斉に“**Happy Birthday to you**”と男声合唱で歌い始めたのです。金川明裕、菅野正美、鈴木茂明、辻秀幸、松村努の5氏がハモる歌声は壮観でした。廊下にいた群馬県連のスタッフが何事かと覗き込んできましたので、新祖さんは、恥ずかしさで「冷や汗三斗」でしたが、錚々たる審査員のみなさんからのお祝いをありがたくお受けしたそうです。

どうやら辻秀幸先生がfacebookで新祖さんの誕生日を事前に察知し、他の先生方を誘って仕掛けたようです。辻先生は奥様を亡くされたばかりだというのに…。それにしても参ったと、新祖さんは突然の祝福にまんざらでもない様子でした。